

家族招待昼食例会

大館中央ロータリークラブ

ロータリーを地域の大勢の人に知ってもらう為にも、先ず家族がロータリーの良き理解者であってほしい、その為に年数回開催している家族親睦例会ではなく、通常の例会に家族を呼んで日頃のロータリークラブの活動状況を肌で感じてもらおう、と言う前年度の坂本会長の発案でこの家族招待昼食例会は実現し、それが今年度に引き継がれ上半期終了時点で4回を数えましたので概略を記してみたいと思います。

2008～2009年度

第1回 2009年2月23日(月) 出席者 会員20名 家族7名

ゲスト 能代市長 斎藤滋宣令夫人 斎藤正子様

第2回 2009年3月23日(月) 出席者 会員23名 家族8名

ゲスト 大館市 光法寺 住職 蛇川尚禅様

2009～2010年度

第1回 2009年9月28日(月) 出席者 会員24名 家族4名

ゲスト 秋田ゼロックス(株) 畠山陽輔様

第2回 2009年11月30日(月) 出席者 会員24名 家族7名

ゲスト 算数オリンピック委員会 伊藤昭子様

スピーチ概要

斎藤 正子 様 「絵本の読み聞かせ」ボランティアをしてみ

結婚31周年目であります。生活の3分の2が政治に携わり選挙に関わった生活でした。5年前に選挙に失敗した時自分も悩み多くの反省もありましたが、その中から地域の子供達に「絵本の読み聞かせ」ボランティアを始めて3箇所の子供園、2つの小学校や児童館、子育て支援センター等で活動しているうち、子育て中の母親とも交流が多くなり、子供との心の付き合いが生まれたと感じています。そんな中で出会った絵本「しあわせのスープ」を、心を込めて読ませて頂きたいと思います。そこから何かを感じて頂けたら、大変嬉しく思います。



虻川 尚禅 様 お彼岸について

今日はお彼岸についてお話しさせていただきます。春と秋に1週間お彼岸があります。季節の変わり目に祖先を偲ぶという、日本古来の宗教行事です。彼岸・・・悟り。争いのない対立のない仏の世界。此岸・・・こちらの世界（現在）。苦しみ、悩み、争いが多い。此岸から彼岸へ、悟りの世界に赴く為に6度の業をする事によって仏の世界に赴く事の大切さが説かれています。ロータリークラブの四つのテストは仏教の内容が込められていると感じました。ロータリークラブが寄付をするのは財産等物理的な施し、清掃活動や除雪のボランティアは心や体で出来る施しです。



畠山 陽輔 様 ジャンプスポーツ少年団指導員の思い

選手を引退して、4月から鹿角ジャンプスポーツ少年団で指導をしています。ここは鹿角市花輪スキー場を拠点として県内各地の選手を集めて指導しており、高橋大斗や小林範仁選手もこの出身で、中には小坂中2年生の女子ジャンパーもあり、女子ジャンプも世界選手権の正式種目になり、日本でも15名位選手がいますが、世界レベルで活躍出来るのは3～4名になると思っています。コーチとしては「選手の一步前を歩く」と言われた北島康介選手を育てた平井コーチの言葉を大事に思い、選手と信頼関係を築いていきたいと思っています。選手の目標は「K点を飛びたい」「大会で優勝したい」「オリンピックに出たい」と色々ありますが、その選手の目標が達成出来るよう私自身努力したいと思っています。最近野村監督の本に「財を遺すは下、仕事を遺すは中、人を遺すは上としたい」と中国の諺のようでしたが、私も将来そのような指導者を目指してみたいと思う今の心境です。



伊藤 昭子 様 算数オリンピックについて

私は結婚して東京から大館市に来ました。家業の化粧品屋を7年程手伝いしていましたが新しい流通機構では赤字経営で立ち行かなくなり、お姑さんに「塾をやってみたいので化粧品店舗を貸して下さい」と言って快くOKをもらいました。最初は現代国語と古典の塾をやってみたかったのですが、実際のニーズは圧倒的に算数と数学でした。そんな時算数オリンピックに行き着きました。一般にはとても難しいと思われていますが子供のやる気が強ければ難関ではありません。もう10年も前の事です。自閉症の子供が「算数オリンピックに出たい」とお母さんと一緒にやって来ました。特殊学級にいる子でしたが、その子は小、中、高、専門学校を出るまで私の所にいてくれ、今は立派な社会人になりました。人と普通に話す事の出来ない自閉症の子供が算数オリンピックのお知らせをみんなに渡した時、そのパンフレットをじっと見つめながら「先生、自分が出てもいいの?」と言った言葉が今でも耳から離れません。私は「勿論いいよ、一緒に出よう」と言いました。多動と言って長くじっとしておれない子供ですが、予選に出してもいいですか、との手紙に「自分達は英才教育がしたい訳ではありません。算数の好きな子供を増やしたいだけです。自閉症の子が出てくれるなんてこんな素晴らしい事はありません。大歓迎です。」と返事を頂きました。皆さんが何処かで算数オリンピックの事を話題にして頂ければ嬉しいと思います。



☆以上観単に纏めてみましたが、通常例会に家族も参加して例会の進行形式とか今どんな事が話題なのかとか、地域に関わったゲストスピーチとか、ロータリークラブを理解してもらえ一助になっていると思われまますし、当クラブとしては引き続きこの催しを当分の間、折に触れ開催する予定が次年度にも引き継がれているようです。